

このハガキは不特定多数の方へ送付しております

## 福島署地域課 石田忠仁警官の不法行為

23年9月26日(月)15時頃のこと。

私から再三、動愛法に基づく指導を受け、更には、署名簿まで送付されるに至った●●(福島市太平寺毘沙門堂)。

●●一家の外にいる数頭の猫の不妊手術費を私が出してあげるということで、私は●●の家を訪問した。●●は当方の善意に反抗して警察へ通報した。●●へ適正飼育を促す署名簿へ署名した方々や、署名簿集約者である私への報復だったのだろうか。

石田警官は、現場に駆けつけるや否や、当方の事情も聞かず、いきなり「帰れ！帰れ！帰れ！帰れ！帰れ！不法侵入だ！！警告する！！」と大騒ぎ。

私が警察の間違い指摘していたら90分も過ぎ、家に戻らなくてはいけない時間になった。その為、私が定期的で開催している低料金手術キャンペーンで、不妊手術を受けさせることができなかった。

石田警官らと私のやりとりを聞いていた近隣住民からすでに、私へ「警察はまともじゃない、猫が次々と産まれては虐殺されることを改善する気がないんだよ」という声が届いている。

石田警官は、不幸な命が産まれては衰弱死や虐殺死が繰り返されていても平気であり、不妊手術の妨害をすることで起こる悲

劇については「別問題！」と切り捨てた。石田警官による妨害行為と不幸な命が産まれることは因果関係があるというのだ。動物愛護法を広く住民へ啓発する職責にある警察が、自身の身勝手な感性だけを拠に、私を不法侵入者扱いしたのだ。

さて、当方の善意に反抗して警察へ通報した●●は、これからも不幸な命を増やして衰弱死を繰り返すつもりだろうか。ネットワークの皆で監視を強化するしかない。

石田警官が当方を不法侵入者扱いした罪は重く、警察法・公務員法に反する。石田警官は「星野さんの活動は前から知っている」と言ったことからして、尚さら罪が重い。当日、当方は石田忠仁警官へ『因果応報』について説明しておいた。

翌日の午前中、我が家の玄関前に変質者が出現。我が家の玄関前で自慰行為を始めた。その男が石田警官ではないのは確かだが、すでに「石田警官が犯人じゃないの？」という声がネットワーク内で盛り上がっている。



私が否定しようとも「絶対そうだよ、その警察だよ」という意見が根強い。石田警官が私を不法者扱いした罪は重く、その報いとして石田警官は変質者の汚名を着せられた。正に因果応報。  
←野良猫が産んだ仔猫が無惨な死を遂げた

「あなたはあなたの良心に忠実ですか？」

星野節子 「二本松アニマルポリス」で検索できます  
二本松市の最上動物病院とは一切無関係